

# 戦 評

## 男子決勝

第39回全国ミニバスケットボール大会 日時 平成20年3月30日  
(日)

代々木第一体育館 Bコート 第5試合

石川県  
七尾ブルドッグ

栃木県  
VS 佐野ミニバスケットボールク  
ラブスポーツ少年団

### 結果

42 - 45

前半( 19 - 21 )

後半( 23 - 24 )

#### 第1クォーター ( 6-15 )

男子決勝Bコートはジャンプシュートが持ち味の栃木が先手を取る。栃木は足を使いマンツーマンで石川の得点を抑える。攻め手がないう石川は残り4分半でタイムアウトを取る。その後は栃木のファウルを誘い、フリースローや#4のロングシュートで徐々に点が決まり始める。序盤のシュートが決まった栃木が9点差をつけ、1Qを終了した。

#### 第2クォーター (13- 6)

2Qは石川#7、#9のインサイドプレーが試合の流れを変えるきっかけとなる。ディフェンスもオールコートプレスで栃木の攻めを止め、1Qの点差が徐々に詰まっていく。攻めることが苦しくなった栃木は残り3分半でタイムアウトを取り立て直しを図る。しかし残り45秒で石川の果敢なインサイドプレーで同点となる。2Q終了間際、栃木#6のシュートが決まり1ゴール差で折り返した。

#### 第3クォーター ( 8-14 )

後半も石川の厚いオールコートプレスディフェンスが、栃木のオフENSEを幾度と無く食い止める。その状況下で、栃木は#9の長身を生かし攻め手を作ることで、徐々にチーム内に落ち着きが戻り始める。インサイドの攻防が続き、石川は#7がリバウンドを粘り強く取りに行くものの、得点につながらない。一方、栃木はシュートを確実に決め、再度点差をつけ最後のクォーターを迎える。

#### 第4クォーター (15-10)

4Qの石川は積極的にディフェンスをして、オフENSEファールを誘う好プレーを見せる。石川#6、#7はリバウンドをとり続けて、得点を重ねた。3Qで落ち着きを取り戻した栃木は、この試合2本目となる#7のバスケットカウントを決め、点を広げようとする。残り3分で石川はタイムアウト。ここから選手が粘りを見せ#4のロングシュートで3点差。残り47秒で栃木がタイムアウトを取った後もシュートが決まり、同点となる。どちらのチームも最後まで果敢に攻め続けたが、栃木#9がゴール下でファウルをもらいフリースロー2本が決勝点となった。ゴール下でのプレーを制した栃木が勝利を手にすることが出来た。

記入者 上杉 侑里子